

くずは

2021. 4. 10
発行 くずはの家
〒257-0031 秦野市曾屋 1137
TEL&FAX 0463(84)7874

今月の話題 アリの観察

土中で冬ごもりしていた虫が、春の訪れを感じて、穴から出てくる頃とされている「啓蟄」(今年は3月5日)を過ぎて、およそ1ヶ月経ちました。今、くすのき広場では「土中の虫」クロヤマアリが巣穴から盛んに土を運び出し、拡張工事の真っ最中です。冬の間にも巣穴が埋まってしまったのでしょうか?はたまた、これから育ってくる新成虫のために新しい巣穴を掘っているのでしょうか?自分の頭ほどもある土の塊を、軽々とくわえて運び出しています。力持ちですね。

昨年暮れまで、私はムネアカオオアリという、日本でいちばん大きいアリを飼っていました。私が病気になってしまい、飼育を家人にさせるわけにも行かず、また、元々が近所から採集した1匹の女王からスタートしたコロニーだったため、野外に放つことにしました。

3年間飼育しましたが、このコロニーからは、いろいろと学ぶことができました。

飼育していたムネアカオオアリの家族構成は、1匹の女王アリがいて、数100匹の働きアリと卵、幼虫、蛹がいっしょに暮らしています。これは本当に家族で、この働きアリは全員がこの女王の娘です。この家族にはお父さんはいません。女王アリが巣を作る前、雄アリとの結婚飛行で交尾し、その際一生分の精子を体内に蓄えますが、直後、雄アリは死んでしまいます。女王アリはこの精子を使って、このあと20年にわたり産卵を続けます。なんと!女王アリの寿命は20年もあるんですよ!

4月、暖かくなると女王アリは産卵を始めます。卵が孵化すると、働きアリが給餌を行い幼虫を育てます。十分に育つと幼虫は糸を吐いて繭を作り、蛹(さなぎ)になりま



クロヤマアリ

問題はその後です。何と新成虫は自力でこの繭から出ることができないのです。回りで世話をしていた働きアリたちが、繭を破り、蛹の殻を取ってやって初めて新成虫が誕生してきます。このように4月以降徐々に新成虫が生まれ、家族は増えていきます。ところが9月になると、女王アリは産卵をやめてしまいます。それまでに生まれた卵は成長を続けますが、あるところまで成長すると成長をやめ、越冬体制に入ります。冬を越し暖かくなると、再び成長が始まり蛹になり、新成虫の誕生へと繋がります。しかし、これはムネアカオオアリの場合で、クロヤマアリでは、生まれた卵は秋までに成虫になり、幼虫で越冬することはないそうです。

「アリは勤勉だ、働きアリのように働く」と言う表現をよく使いますが、大半のアリは巣の中でじっとして、働いていません。また、女王アリの産卵は4月頃から始まり、9月には終わってしまうので、巣の維持は女王でさえ半年間だけです。人間は一年中休み無く働いています。ちょっと働き過ぎじゃ無いですか?アリを見習って休みましょう。

文:くずはの家所長 高橋孝洋、写真:味埜真理

くずはの広場・かんさつガイド ができました!

かながわトラストみどり財団の助成金を活用して「くずはの広場・かんさつガイド」が完成しました!第一弾は、「①葛葉峡谷の地層」「②春の草花」の2種類です。「葛葉峡谷の地層」は、葛葉川の川原から見られる地層の崖をわかりやすく解説しています。「春の植物」は、広場の様々な環境ごとにおすすめの草花を紹介しています。また、よく見られる花の名前を色によって紹介しています。どちらも、ガイドを見ながら実際に観察するとより深く理解でき、楽しめますよ!ガイドを手に、春のくずはの広場を散策しませんか?ガイドは、くずはの家にて配布しています。またくずはの家ホームページからもダウンロードできますので、ご利用ください。(A5版4ページ)



くずはの家 行事案内

日時	テーマ・講師	対象・定員	受付開始
4月29日(木・祝) 9:30~15:00 (受付は14:00)	春のスペシャル★グリーンオリエンテーリング 広場内のポイントを回って、自然のクイズにチャレンジ!	どなたでも	当日受付 9:30~14:00
5月1日(土) ~ 5日(水・祝) 9:30~16:30	やさしくふれて・うごかして・あそぶ 木のおもちゃ・組み木絵展 ~坂井謙おもちゃコレクション~ ★ウォークラリーも同時開催 ゴールドデンウィーク・ガイドウォーク 11:00と13:00から約30分広場をご案内 各回先着10人	どなたでも	自由参加 当日受付
5月8日(土) 10:00~11:30	ちびっこあつまれ・森へ行こう くずはの広場指導員 雨天中止	3~6歳の幼児と 保護者20名	4月15日
5月23日(日) 9:30~11:30	水生昆虫ゲットだぜ!! えのきの会水辺分科会・くずはの広場指導員 雨天時室内で実施	小学生以上 15人	5月1日
5月27日(木) ・28日(金) 18:30~20:30	ほたるの観察会 くずはの広場所長 雨天中止	どなたでも 各日20名	5月1日

くずはの家のボランティア活動

☆3月の活動

定例会:3/7 は、くずはの広場の草花に付ける竹の名札のペンキ塗りとナラ枯れ木に椎茸菌を植菌。満開のコヒガンザクラの下でお花見を兼ねた作業となりました。3/18は来年用の薪の移動と薪割りをしました。エンジン式薪割り機の調子が悪く、ほとんどが手作業となりましたが、大鉋、大槌、ハンマー、手動油圧式薪割り機など、手動の道具を駆使して皆で気持ちの良い汗を流し、がんばりました。
花壇の会:3/4 花壇の整理を行い、くずはの家の入口がとてもきれいになりました。花壇の花も次々と咲き始めて華やかです。
とんぼのせせらぎ:3/25 水路の整備をしました。

☆これからの活動

定例:4/15(木)、5/2(日)、20(木)
花壇の会:5/13(木)
とんぼのせせらぎ:4/22(木)、5/27(木)



作業後のミーティングは屋外で!



イラスト:阿木二郎氏

行事報告

春休み企画展示
地球のカケラ・石ころ展
3/27~4/4 延べ273人



岩石を様々な角度から紹介した初めての展示で、寄贈の鉱物標本や、自由に触れる観察と、体験コーナーが好評でした。

お知らせ

現在新型コロナウイルスの感染予防対策として、研修室のご利用は、手指の消毒・体温測定・マスクを着用した上で、20人以下での使用ができます。飲食はできませんのでご了承下さい。尚、今後の感染状況により対応を変更する場合がありますので、ご了承下さい。

行事へのお申し込み・お問い合わせは

電話・FAX・メールで

TEL&FAX 0463(84)7874

E-mail, kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

5月の休館日

5月6日、7日、10日、11日、12日

17日、24日、31日

http://www.city.hadano.kanagawa.jp/

秦野市のHPの公共施設案内にくずはの家ホームページがあります!

くずはの広場観察路マップ

2021年4月2日調べ

①～⑭には観察板があります。
回ってみましょう！

凡例

△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実



3月の野鳥

(3月2日～4月2日調べ)

- 1、カルガモ
- 2、キジバト
- 3、トビ
- 4、ハイタカ
- 5、コゲラ
- 6、アオゲラ
- 7、リュウキュウサンショウクイ
- 8、オナガ
- 9、ハシボソガラス
- 10、ハシブトガラス
- 11、ヤマガラ
- 12、シジュウカラ
- 13、ツバメ
- 14、ヒヨドリ
- 15、ウグイス
- 16、エナガ
- 17、メジロ
- 18、シロハラ
- 19、アカハラ
- 20、ツグミ
- 21、スズメ
- 22、キセキレイ
- 23、ハクセキレイ
- 24、セグロセキレイ
- 25、ビンズイ
- 26、カワラヒワ
- 27、マヒワ
- 28、アトリ
- 29、イカル
- 30、カシラダカ
- 31、アオジ
- 32、コジュケイ
- 33、ガビチョウ

3月の昆虫

- チョウ・ガの仲間**
- キタテハ
 - ルリタテハ
 - キタキチョウ
 - テングチョウ
 - スジグロシロチョウ
 - モンシロチョウ
 - ツマキチョウ
 - ムラサキシジミ
 - ミノウスバ幼虫
- カメムシの仲間**
- ヨコヅナサシガメ(幼虫)
 - クヌギカメムシ(幼虫)
 - ツマキヘリカメムシ
 - ヤスマツアメンボ
 - ツマグロオオヨコバイ

カブトムシの仲間

- トゲヒゲトラカミキリ
- ヤマトタマムシ(越冬幼虫)
- アマダテントウ
- ナナホシテントウ
- ニジゴミムシダマシの仲間
- イタドリハムシ
- クロウリハムシ
- キクイムシの仲間
- キノコムシの仲間

ルリマルノミハムシ

- ルリオトシブミの仲間
- ハチ・アブ・ハエの仲間
- オオスズメバチ
- セイヨウミツバチ

その他の仲間

- クビキリギス
- ハラヒシバツタ
- オオカマキリ(孵化幼虫)
- カワゲラの仲間
- コカゲロウの仲間



イカリソウ

くずはの広場トピックス

アズマヒキガエル産卵…3月10日
8日の雨で集まったらしく、10日未明に産卵。メス2匹分の紐状の卵塊は、ヤマアカガエルのおたまじゃくしに食べられないよう網かごの中に隔離します。集合するアズマヒキガエルが少なく、個体数が減ったのか、心配。

カヤネズミの巣!?発見…3月17日
くすのき広場で春の草刈り。2019年に見つかったのと同じ、カヤネズミの冬のすみからしいものが見つかりました。増えてくれると嬉しいです。

葛葉川でウグイ確認…3月24日
地層の崖下、小さな渦が次々とでき、大小の丸い影となって川底に映っていました。見ると、20cmを超える銀色の魚。ウグイです。最近、葛葉川ではウグイを見るのが少なくなったので、嬉しいニュースです。産卵は4～6月で、まだ婚姻色ではありませんでした。



コクスギ